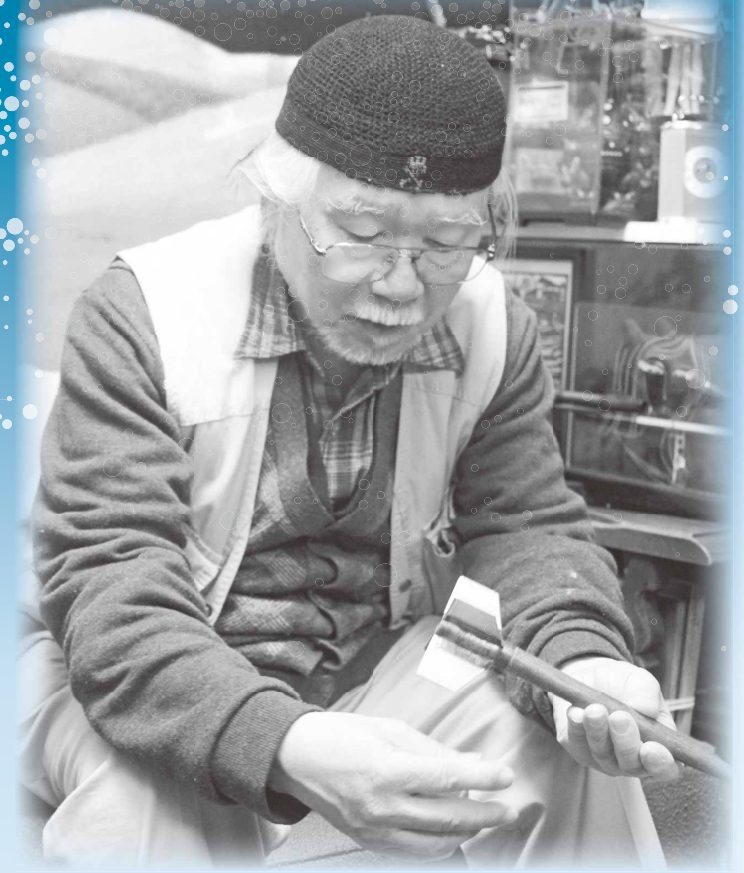


私とペンシルロケット

第4回 松本 零士さん(漫画家)

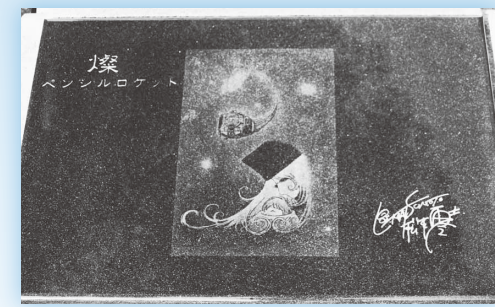
昨年、この国分寺の地で、日本初のペンシルロケット水平発射実験が成功してから60年の節目を迎えました。実験が行われた場所である現在の早稲田実業学校に、平成18年4月、「日本の宇宙開発発祥の地」顕彰碑が建てられました。その下には、子どもたちが考えた未来のロケットイラストが入ったタイムカプセルが埋まっています。このタイムカプセルのデザインを漫画家の松本零士さんにいただいています。また、記念碑には代表作の「銀河鉄道999」が描かれています。天文や宇宙開発にも造詣の深い松本零士さんに、糸川英夫教授やペンシルロケットについて伺いました。

→市政戦略室(内441)



HII-Bの模型(左)とペンシルロケット実機(右)

タイムカプセルは、2055年4月開封予定です



顕彰碑の「銀河鉄道999」



顕彰碑の糸川教授とペンシルロケット

夢のない人間は未来が暗黒です

決して夢を失わないように

松本零士さんと糸川英夫教授の出会いを教えてください。

私の父は旧陸軍航空部隊のパイロットでした。それもあって私は子どもの頃からロケットなど、機械に関心を持つようになり、機械工学を学びたいと考えていました。しかし、父が職を追われてから、家が非常に貧しくなってしまったんです。目指す道にどうしても進めないということが分かったので、弟に「お前がやれ。俺が行かしてやる」と勧めました。弟は機械工学を学び大学院も出て、技官としてロケット開発をするようになりました。

実は、私は宇宙に関する作品を描く際、弟に連絡して「これと間違いないか」と聞くこともありました。逆に弟からアイデアを出してくれという相談を受けたこともありましたが、私は高校のころから漫画の連載を持っていたので、18歳になつて上京して、文京区の本郷に下宿しました。東京大学があるところなんです。あのころは自由で、大学内に入っても同年代で学生服だし、中でうろろろでたんです。それで勝手に研究室にまで入り込んでしまいました。しかし、途中でつかまって「お前は誰だ」と言われ、それが糸川教授だったんです。それで、「実験道具に触って

ないだろうなと聞かれ「触っておりません。私は機械工学を学びたかっただけ、今は漫画を描いています」と話しました。そうしたら、「これからは事前になんて言っただらいい」と許してくれました。それで糸川教授は、日本の終戦直前までの機械工学の進化など、微細な出来事から実験に至るまで若者の私に丁寧に説明してくれました。

ちょうどそのころ、まさに糸川教授らによる国分寺での水平発射実験を終えたころです。ペンシルロケットのことはもうご存じでしたか。

知っていました。あの実験は、論理的な意味で、まず原型ができた、といった感じですね。ペンシルロケットは宇宙開発の第一歩。実際にはペンシルじゃなく、日本には巨大ロケットを作れる技術があるはずだ、と私と父は思っていました。

市が所有しているペンシルロケット実機

昨年4月に行ったペンシルロケット企画展を新聞記事でご覧になった方から、「一部が木のペンシルロケットがあるのを見てほしい」と連絡がありました。詳細を調べたところ、尾翼部分が当時の実験で使用された、実機であるということが確認されました。

その後、所有者の方から「日本の宇宙開発発祥の地で多くの方に見てほしい」というご厚意で、市に寄贈されました。



これは市が所有している、60年前の実験で使われたペンシルロケットの実機です。

ああ、実物ですか。原型の原形ですね。こういうところから始まって、人工衛星やロケットを打ち上げられるようになったんですよ。横に飛ばしたのは知っていましたので、自分でも火薬を詰めて飛ばしてみたいと思っていましたけれど、危ないからうっかりしたことでできませんね。

HII-Bの模型があるから、並べてみましょう(右下写真参照)。ロケットの原型と現在のロケット。ここから始まって、ここまで発展していったんですね。やっぱり初めが大事なんです。

今でも宇宙への憧れを持ち続けているんですね。

以前、宇宙飛行士の時計のデザインをしたことがあります。野口聡一さんや山崎直子さん、ほかにもロシアの宇宙飛行士に差し上げました。それを持って宇宙ステーションに行ってくれた人もいて、私の時計はすでに宇宙に行っているんです。

私たち漫画家は、イラストを描く時の資料に写真を使いますが、それはあくまで平面です。実物をこの目で見ると、そこで初めて自分に対する距離感や大きさ、物量の存在感を感じられます。だからリアルに描けるんです。だから私は地球を見たい。まだ体力は大丈夫だから、自分を乗せて宇宙に打ち上げて欲しいと今でも思っています。

最後に会ったのは、日本科学未来館でのイベントの時です。そのときに私が、「本当は機械工学に進みたかったけど貧乏で行けなかった」としみじみ話していたら、背中をばんつと叩かれて「あなたはこんなに

なにより夢を失うなという事です。子どもの時に考える未来は、夢のように膨らむかもしれないけど、大人になった時にはそれは現実のものとして、自分がそれに挑戦するようになりますから、決して夢を失わないように。人類が知的生命体として進化できたのは、夢を見る事ができ

最後に、「日本の宇宙開発発祥の地」顕彰碑のある、国分寺市の子どもたちに向けてメッセージをお願いします。



©松本零士

なにより夢を失うなという事です。子どもの時に考える未来は、夢のように膨らむかもしれないけど、大人になった時にはそれは現実のものとして、自分がそれに挑戦するようになりますから、決して夢を失わないように。人類が知的生命体として進化できたのは、夢を見る事ができ

るからです。だから夢だといって笑われたって構わない。そのうち泣かしてやるから見て、と思っていればいい。夢のない人間は未来が暗黒です。人任せでは面白くない。自分が最もやりたいと思うものを見つけて、未来への思いとしてそれを抱いて元気に育ってください。

そのためには、毎日しっかりとご飯を食べて走り回るのが一番大切です。ちょっとくらい暴れまわってもいいから、いっぱい食べていっぱい動いて、元気を作ってください。

プロフィール 松本零士さん

漫画家。昭和13年、福岡県久留米市生まれ。宝塚大学教授、京都産業大学客員教授、デジタルハリウッド大学特任教授を歴任。(公財)日本宇宙少年団理事長。代表作は「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」ほか多数。SF漫画だけではなく、少女漫画や戦争・動物ものなどさまざまなジャンルの漫画を描いている。アニメ製作にも積極的にに関わり、1970年代半ばから1980年代にかけては松本アニメブームを巻き起こした。

(公財)日本宇宙少年団(YAC)とは
昭和61(1986)年に設立された宇宙教育団体。(公財)日本宇宙少年団とJAXAは、「宇宙教育の推進に関する確認書」に基づき連携・協力しながら全国での宇宙教育活動を推進している。現在、約3,000人の団員が登録しており、年齢性別を問わず誰でも団員になれる。また、全国に約140の分団があり、国分寺市近隣では「分団サイエンスキッズみたか」「たまご分団」などが宇宙をテーマにしたさまざまな活動をしている。

日本宇宙少年団ホームページ <http://www.yac-j.com/>



ふるさと納税のお礼に ペンシルロケットレプリカを贈ります

JAXA宇宙科学研究所共催・1,000機限定

■申込書での申し込み
①左の申込書(コピー可)を切り取って記入し、ハガキに貼り付けるか封書に入れて郵送で〒185-8501財政課へ
②A4用紙に貼り付けて [☎\(042\)325-1380](tel:0423251380) または直接財政課(市役所第3庁舎)へ

■インターネットからの申し込み
ふるさとチョイス <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/13214> から※右のQRコードからもアクセスできます

★寄付金額10万円(連続した2年で分割可)ごとに1機贈呈します。
★確定申告またはふるさと納税ワンストップ特例制度の申請(以下「確定申告等」)をすることで、寄付金控除を受けることができます(下表参照)。

ケース	給与収入(*1)	全額(*2) 控除されるふるさと納税額(年間目安額)	寄付の回数・金額	確定申告等の回数	実質負担額
ケース1	700万円	11万8千円	1回10万円	1回	2千円
ケース2	450万円	5万8千円	2回 5万円	2回	4千円

(*1) ふるさと納税を行う方の家族構成が、独身または共働き(子どもなしまたは中学生以下の子どももいる場合も含む)の場合
(*2) 2千円を除く

キリトリ

様式第1号の2(第4条関係)
国分寺市長 殿
国分寺市寄附金申込書(ペンシルロケットレプリカ用) ●1,000機限定 ●寄付金10万円ごとに1機贈呈
私は、国分寺市へ次のとおり寄附を申し込みます。

氏名(団体名及び代表者名) ふりがな
住所(所在地) 〒
電話番号・FAX (電話番号) (FAX)
寄付金額 円 希望機数 機 分割回数(※1) 1回目 2回目
寄附金の使途(希望するものに○)
1使途を指定しない(市長に委ねる) 7教育施設の整備
2国分寺市立、樹林地、地下水、湧水の保全等 8公民館・図書館活動など社会教育の充実
3公園の整備 9歴史遺産の保存・活用
4子育て施設や環境の整備 10(仮称) 国分寺市郷土博物館建設基金
5高齢者の福祉サービス基盤整備 11その他
6障害者の福祉サービス基盤整備

市への取組メッセージ
市HPでの公表(※2) 氏名 承認する・しない 金額 承認する・しない
メッセージ 承認する・しない
お礼の品の送付先 □上記住所と同じ □上記住所と異なる(以下ご記入ください)

住所(お礼の品の送付先) 〒
名前 ふりがな 電話番号

寄付金控除に係る申告特例申請書(ふるさと納税ワンストップ特例制度)を希望する場合は右欄に○をしてください。
記入欄は、寄附内容についての市からの問い合わせ、寄付金の納付及び受領書、寄附金控除に係る申告特例申請書、ふるさと納税についての市からの告知や世帯に送られる(希望された場合のみ)の返信のために使用します。上記目的以外に使用されることは一切ありません。

(※1) 分割回数の注視点
分割回数の回数は2回までとし、1回当たりの寄附金額は1万円単位とします。/分割回数の2回目は、分割回数の1回目を発行した日(発行の翌年12月)まで市が控除する日で行ってください。/ペンシルロケットレプリカは、分割回数の2回目を市が控除しましたらお送りします。/分割回数の2回目がお済みでない方のペンシルロケットレプリカについては、期限に達するまでは控除いたしますが、期限内に分割回数の合計金額が10万円に満たない場合は、期限までの寄附金額にしてお礼の品を受け取ることができます。期限経過後になりましたら、改めて市より通知しますのでご確認ください。

(※2) 未選択の場合は、匿名希望とします。

キリトリ